



2024
AUG

8

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 2024-25

国際ロータリー第2760地区 ガバナー月信 vol.2



ガバナー 吉川 公章



〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目15番15号 豊島ビル3階
TEL: 052-203-2760 FAX: 052-201-1670

CONTENTS

目次

- 1 表紙のお話・目次
- 2 ガバナーズメッセージ
- 3 7月 母子の健康月間に寄せて
- 4 8月 会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて
- 5 ガバナー活動報告
7月12日 クラブ活性化セミナー（全体会議）
- 6 ガバナー活動報告
7月12日 クラブ活性化セミナー（ワークショップ）
- 7 特集：名古屋南ロータリークラブ紹介

表紙のお話



名古屋南ロータリークラブは、スウェーデン発祥でジョギングや歩きながら楽しくゴミを拾うスポーツ「プロギング」を通して、家族でゴミ減量を学習する活動を名古屋市中心地にある白川公園付近において実施しました。



2760地区アクション



2023-24年度の藤田会長及び丸山幹事が、12月中旬に重症心身障がい児者施設を訪問しました。二人がサンタクロースに扮して、入院したまま外出できない子供たちにクリスマスプレゼントを手渡し、子供たちを笑顔にすることができました。

新たなロータリー年度がスタートし、はや1ヶ月が経過しました。地区内の各クラブも新たなリーダーのもと、すでに様々な活動を開始していることと思います。

7月はいくつかの新しい出来事がありました。新札が発行され流通が始まっています。最近では日常生活でお札を使う機会は減っていますが、新札が発行されると急いで使ってみたくするのは私だけでしょうか。新しいお札を見ると新たな時代の幕開けのようにも感じています。

7月26日にはパリオリンピックが開幕されました。東京大会は新型コロナ感染パンデミックのため1年遅れの2021年に開催されましたが、大勢一緒に観戦することができなかったのは今でも残念に思っています。やはりスポーツイベントは大勢で楽しく観戦するのが一番ではないかと思っています。様々な競技で日本選手の活躍を見ることは本当に楽しいことです。頑張れ日本！

さて8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。国際ロータリーの第1の目標は会員増強です。自らのクラブが居心地良く、所属意識を感じるクラブであることが大切です。そのためには、みんながロータリーの基本である「4つのテスト」の心（真実、公平、友情、良い関係作り）、DEIの行動規範をもって互いに接することでよりよいクラブの文化が創られると確信しております。会員一人一人がそれぞれクラブの活動の中でロータリーの価値を感じるクラブであって欲しいと願っています。また、奉仕の精神にあふれた真摯な方々を新たにロータリーの一員として迎えてください。新たなクラブのオプションとして8名で設立できる衛星クラブがあります。衛星クラブの会員はスポンサークラブの正会員ですが、例会、奉仕活動など別に活動できます。特定の奉仕活動に専念する、同様の趣味を活かして奉仕活動を行う、同業者の代表者同士など多彩なグループ活動が可能です。スポンサークラブの例会に出席するなど一緒に活動することも可能です。RIへの人頭分担金は同額ですが、衛星クラブ会費は独自に設定可能で通常低く設定することが多いです。

時代の変化につれ社会が大きく変わっていきます。変えてはいけないロータリーの心を大切にしながら次の100年に向け互いに関わりを広げ、基盤を広げ、さまざまな変化にも適応していきましょう。我々の活動がロータリーのマジックとなることを祈念しています。



2024-25年度ガバナー 吉川 公章

7月
JULY



母子の健康月間に寄せて

社会医療法人宏潤会 大同病院 NICU病棟
新生児集中ケア特定認定看護師

杉浦 淳子



女性が妊娠・出産に関連する合併症により亡くなる確率を妊産婦死亡率 (MMR) といい出生10万人あたりで表します。2020年のMMRは、世界では223、我が国は4と世界で最も安全に出産が行える国の1つとされています。妊産婦死亡の主な原因は分娩後異常出血、感染症、妊娠高血圧症候群、妊娠・出産中または産後の合併症、安全でない人工妊娠中絶で75%を占めています。妊産婦死亡の多くは、世界の最貧地域と紛争の影響を受けた国々にほぼ集中しており、約70%がサハラ以南のアフリカで起きています。保健医療へアクセスができ熟練した健康専門家のケアを受けることで、予防や治療は可能です。避妊具の使用や不妊治療法、生殖器がんや感染症の予防知識の普及活動を始め、医療体制の整備が必要とされています。当該地域への国際的な支援が必要です。

出生から1歳に達する日までに死亡する確率を乳児死亡率、生後28日以内に死亡する確率を新生児死亡率といい、出生数1,000人あたりで表します。2021年の乳児死亡率/新生児死亡率は世界では38/18、日本では2/1と乳幼児が安全に育つ社会といえます。

我が国で新生児および乳児死亡率が低いのは、公衆衛生の改善、医学の発展、日本発祥の母子健康手帳の普及などがあり、保健所、医療機関などが協力して母子の健康を支え、切れ目ない母子保健の継続ケアがなされているからです。

さらに日本では子育て支援の充実が図られており、父親の「産後パパ育休」制度の創設など仕事と家庭の両立などを通して家族で子育てを行う環境が整ってきています。それに伴い、子育て家庭での母親のメンタル不調が父親にもみられることが改めて問題となっています。

我が国は超少子高齢化に伴い小児科、産科を標榜する医療機関が激減しています。リスクの高い妊産婦や新生児等に高度な医療が適切に提供されるように地域で小児科、産科を提供できる医療機関同士のさらなる連携が必要です。愛知県では周産期医療の中核となる総合周産期母子医療センターが7施設、それを支える地域周産期母子医療センターは12施設が指定されています。筆者の勤務する大同病院は地域周産期母子医療センターに指定され32週以降の早産児と体重1500g以上2500g未満の低出生児体重児を受け入れています。医療機関相互の連携でさらなる安心な出産と新生児の健康を守り、日本の将来を担う子どもたちの未来の為に日々努力しております。

以上



8月
AUGUST

会員増強・新クラブ結成推進月間に寄せて



今期の会員増強委員会メンバー

毎年8月は『会員増強・新クラブ結成推進月間』です。
アーチックRI会長は、2024-25年度の最優先課題は「会員増強を図る行動計画を推進する事」とし、「3年間の目標」を設定した上で、各地区で「純増100名、4つ以上の新クラブ設立」という本年度の目標をコミットされました。
これを踏まえ当地区でも、「4つの優先事項に沿ったクラブ戦略計画の作成」、「新たな形態のクラブの創設」を活動方針に掲げています。
当委員会では、「会員数の純増・新クラブの創設」に取り組む上でのヒントを得ていただく事を目的に、8月に会員増強セミナーPART I【総論編】、11月に会員増強セミナーPART II【各論編】、来年の2月に「DEI推進フォーラム」を開催させていただきます。
当委員会のメンバーは、地区内8分区から出向いただいております。11名中5名が女性であり、またローターアクトクラブからも配属されているという事で、とてもバランスの取れた委員会構成になっています。
年間を通して、「会員増強卓話」にも随時対応させていただく中で、「強いクラブづくり」・「持続可能なクラブづくり」のお手伝いをさせていただきます。
一年間、宜しくお願い致します。

会員増強委員長 **木所 壮太**
(豊橋東RC)





全体会議について

令和6年7月12日金曜日午後4時より、TKPガーデンシティPREMIUM名駅西口2階大会議室において、「2024-25年度クラブ活性化セミナー」が開催されました。本セミナーの構成は、大会議室で全体会議を行い、その後名駅西口館とTKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口館とにある会議室に分かれ、10グループによるワークショップを行いました。ワークショップ終了後は再び大会議室に集まり、まとめ及び講評があり、午後7時過ぎにセミナーは終了しました。

全体会議において、吉川公章ガバナーから本年度の地区方針である「魅力あるクラブ 持続可能な奉仕活動 成長するロータリー」に沿って挨拶があり、次に地区ラーニングファシリテーター沓名俊裕パストガバナーから挨拶をいただきました。続いて、地区アクションプランチャンピオン伊藤靖祐パストガバナーから新しい取り組みである「クラブアクションプランチャンピオン」の説明がありました。その後、「ロータリーの行動計画 4つの優先事項」に基づき、この行動計画を推進するために、ロータリー財団委員会高山景一委員長、会員増強委員会木所壮太委員長、及び公共イメージ向上委員会古市晃久委員長から、各委員会が行う内容についてスピーチがありました。

グループディスカッションでは、各クラブに対して事前に提出を依頼した「魅力あるクラブ作り」をテーマにしたアンケートに沿って、ファシリテーターが議論を先導する形で進め、各グループにおいて活発な情報の交換が行われました。

セミナーの最後は、吉川公章ガバナーから本セミナーのまとめと、ロータリー財団地域コーディネーター補佐籠橋美久パストガバナーから講評があり、本年度の各クラブの活性化を期して散会しました。

地区スタッフ **川村 大介**
(名古屋南RC)





ワークショップについて

クラブ活性化セミナーのワークショップは、10のグループが各会場に分かれ各8～9クラブから会長・幹事・会長エレクトなど2名ずつが参加し行われました。今回はローターアクトクラブもセッションに初参加しました。

事前に各クラブへアンケートを送り、地区補助金事業の実施予定、クラブの柔軟性、公共イメージの取り組み方、新会員へのフォロー、3-Year Rolling Goalsなどについて回答を得て、それを参考にディスカッションが展開されました。

まず、各クラブの特徴や活動などを自己紹介し、その後ディスカッションがスタートしました。各クラブに共通した話題は会員の入会退会について、女性会員をどのように入会させるかなど、クラブの運営に直接影響する問題として会員増強について多くが語られました。また、ほとんどのクラブが会員の年齢格差をどのように埋めていくかなどに腐心していることがわかりました。地区補助金事業のほか、地域の自治体が後援するようになった事業など、公共イメージにつながる活動についても発表され、みなさん熱心にメモを取っていました。

3-Year Rolling Goalsについては、各クラブから数値目標は出されており、各クラブで話し合いがもたれた様子がうかがわれました。その数値目標をどのようにクリアしていくかが、今後のクラブ活性化にもつながります。各クラブの問題点もディスカッションで共有しながら、参加者は多くのアイデアを手にしたはずで、それをクラブ活性化に活かしていただけることを願っております。

地区ラーニング委員会 委員長 **照井 葉**
(名古屋大須RC)



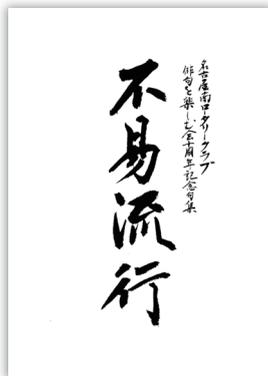
名古屋南ロータリークラブ紹介

名古屋南ロータリークラブは、1957年（昭和32年）2月20日創立され、以来、国際ロータリー第2760地区の有力クラブとして67年余の歴史を刻んできました。会員数は近年、常に100名を超え、本年度（2024-25年度）は当クラブ会長経験者、吉川公章会員が当地区ガバナーに就任されることになりましたことは、当クラブとしても誇らしく、その重責を担うにふさわしい人柄に期待するところ大であります。

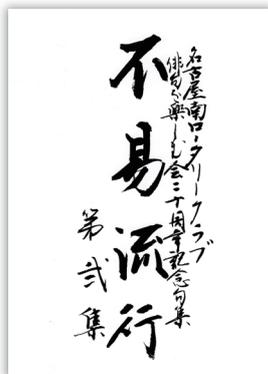


私共のクラブはもとより、国際ロータリーが目標とする社会奉仕を基本とし、友愛と親善を培う努力を様々な社会活動を通じて実施させていただいておりますが、そのミッションにかなう最も身近な方法として、会員とその家族を含めた趣味と親睦の会を催しております。手前味噌となり恐縮ですが、その中の一つに筆者が深くかかわらせていただいております、「俳句を楽しむ会」がありますので、その活動に重点を置いて記述を進めさせていただくことをお許しください。

丁度20年前、第48代会長を拝命しました折、例会毎の会長あいさつには、文化的側面を持つシリーズ的な話題をと思い定めました。そこで頭に浮かびましたのが、少年時代から親しんで参りました先人たちの優れた俳句を季節に合わせてご紹介することでした。お蔭様で、それをきっかけに有志の会員から「俳句を楽しむ会」を立ち上げて、俳句による自己表現の楽しみを味わいつつ、友愛を深めようという俳句実作の会が誕生したのでした。



作品集「不易流行」



作品集「不易流行 第弐集」

お世話係りのご努力や当会事務局員の雑務処理のお蔭で、四季に応じて3カ月に一度、ロータリークラブ例会終了後のほぼ1時間半にわたり勉強会を続けて20年が過ぎたのです。毎回、新作3句を持ち寄り、無記名で回覧して感銘句を互選。その感想を述べる。その後で小生が自作を発表、それに続いて皆さんの作品の選句結果、添削、講評を述べるという段取り。年末には、年間を通じての優秀作の表彰も加えた忘年会が催され、一年を振り返ることも楽しく恒例化されてきました。また特筆させていただきたいのは、その成果が発会10周年を記念して2014年6月に「不易流行」と題する作品集が刊行され、さらに今回2024年6月に「不易流行 第弐集」が新刊され、20年間の名古屋南ロータリークラブ「俳



名古屋南ロータリークラブ67周年記念の集合写真(名古屋観光ホテル)

句を楽しむ会」の足どりが一望に出来ることになったことです。

その編集に大きな労力を惜しまれなかった会員や事務局員の方々には厚い感謝を捧げたく存じます。この「不易流行」という題名は、俳聖松尾芭蕉がお弟子さんたちに俳諧の要諦として遺した短い言葉です。〈不易〉は四季の美へ寄せる古来からの伝統的な意識は手離すべからずと言う意味。一方〈流行〉は現在という時代に新しく出現する事象にも敏感であれということを目指す—その両面を維持すべきだという現代の俳人にも通じる箴言です。写真に示しました2冊の記念冊子の表紙題名は俳句に連動するように当クラブに設置されることになった「句を楽しむ会」の指導者・近藤浩乎さん(日展の重鎮書家。当クラブ古参会員・近藤禎男氏夫人)の染筆によるものです。なお、昨年は「ロータリーの友」発刊70年記念特別企画の俳句募集(選者夏井いつき)にも当会から3人の入選があり、面目をほどこしました。

名古屋南ロータリークラブの紹介の一文が、クラブ内の「句を楽しむ会」の活動報告に終わることになりますが、当クラブのささやかな文化活動も、自然環境への強い関心に通じるものがあるのではないかと考えて、このような内容になりました。楽しみつつロータリーの精神に近づく道もあることを少しでも伝えることが出来ればと願いつつ筆を擱かせていただきます。

名誉会員 馬場 駿吉

